

偽陰性で3000人が陽性の可能性がありながら、陰性だったと安心して外出する事態になる。特異性0.1%で990人は感染ではないにも関わらず隔離され人権侵害となる。結論PCR検査は1回だけでは陰性・陽性証明にもならない。

100万人全員にPCR検査をしたとする。

感染率1%・PCR感度70%・特異性0.1%を仮定とする。

	感染者	非感染者
PCR検査陽性者	7000人	990人
PCR検査陰性者	3000人	989010人
合計	10000人	990000人

PCR検査の意味

当初の数が少ないうちは抑え込みに効果はあったが、ここまで膨らむと意味はない。段階によってコロナ対応は大きく変わっていくのだ。

■村上栄二結論

抗原検査を行い陽性者の濃厚接触者にPCR検査をしてもらう。抗原検査は大規模にやっても5分で結果が出るし、PCR検査より安い(PCR検査19500円、抗原検査7440円)。費用対効果も状況とタイミングで変わってくる。PCR検査も感染者数が増える新幹線及び都市圏では意味はない。島根や福井県などサプライチェーンがほとんどない県なら有効だ。

抗体ができるのだから熱が出るのは当たり前。ワクチン接種の副反応で1万7800人を調べたところ2回目の接種で37.5度以上の熱が4割・頭痛が5割・倦怠感7割高齢者より若い年代や女性で症状が出やすい。2020年1月ウイルスは正体不明の脅威だったが1年4か月で緊急承認を含めて13種ワクチンが承認され、26種のワクチンが後期の治験段階にあります。世界でこれだけの数が出るワクチンはすでに効果が立証されています。

ワクチンに対する見解

村上栄二の超独自の見解

・世界ではワクチン接種率50%程度で大きな効果が出ている。ワクチン反対派の自然免疫で対応となると、ざっくりと100万人の死者が推測される。【出産を希望する女性は控える事も考える必要はある】

なぜならmRNAは体内で分解しやすいために一定量の投与が必要で数年先の治験結果が無い事と副反応がある事が事実です。だからこそ私たち男性や大人が子どもたちや出産を希望する女性たちを守るためにもワクチン投与が必要だ。



意見広告

福山市立大学研究生で学び直し!! 連載

村上栄二です。

プロフィール



りじょう幼稚園、福山市立新涯小学校、福山市立誠之中学校、私立近畿大学附属高等学校福山校近畿大学法学部経営法学科を卒業。大学卒業後、有限会社DC開発研究所にて代表取締役のほか、大阪市議員(1期)を務める。2015年6月からは「地元に戻りたい」想いで福山に戻る。広島県議会議員。

村上栄二のワクチンに対する考え方

今月のテーマ

続・コロナワクチンを理解しよう。

今回は前号に引き続き、コロナワクチンについてお伝えします。様々な情報が錯綜しておりますが、少しでもお役に立てれば幸いです。

結論その1
治験を重ねたmRNAワクチンとどんな症状が出るのかわからないウイルス。身体に入れるなら私はmRNAワクチンを入れる。
結論その2
村上栄二は自分の体力や免疫を過信していない。もしも、私が母親や友人に感染させ、結果として母親や友人の身内が感染して亡くなった時。
【人生の最後を苦しみ呼吸困難で看取りがなく終わりを告げる】そんな最後をひとりでも増やしたくないという思いです。死亡率や重症化率だけではなく、ひとりひとりの命を想像する事が大切だ。